

株式会社 中村屋

東証スタンダード

2 2 0 4



**2025年3月期第2四半期（中間期）決算説明会**

2024年11月

## 2025年3月期第2四半期（中間期）決算の総括

- 売上高伸び悩むも増収、赤字幅縮小を達成
- 中華まんの春・夏需要の喚起、食品事業の新規販路開拓により営業赤字は大幅に縮小

## 2025年3月期通期見通し

- より一層の中村屋ブランドの構築をはかり、工場稼働率の平準化等の収益改善策を推進
- 収益性の改善により増収増益を目指す

## 企業価値向上に向けた取り組み

- 中期経営計画「中村屋2027ビジョン」を推進
- 収益構造を改善するとともに、売り上げ拡大の基盤をつくる

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）決算概要
2. 2025年3月期通期見通し
3. 企業価値向上に向けた取り組み

## 『真の価値を追求し、その喜びを分かち合う』

創業者の信念を受け継ぐ

### ■ ミッション

#### お客様に対して

独自性を磨き、どこよりもおいしい商品を提供することで、感動と笑顔をお届けする

#### 従業員に対して

ひとりひとりが覚悟と熱意をもって仕事に挑戦し、成長することで働く喜びが生まれる風土をつくる

#### 社会に対して

持続可能な社会の実現に貢献し、ステークホルダーとの信頼を築く

### ■ ビジョン

中村屋は、創意工夫と挑戦で、  
これからの暮らしに溶け込む、喜んでもらえる食を提案する

■ 中村屋の約束（ブランドステートメント）

**新宿 中村屋** 変わらない「おいしい」を、いつもあたらしく。

変わらない「おいしい」を、いつもあたらしく。

# 2025年3月期第2四半期（中間期） 決算概要

新宿 中村屋

変わらない「おいしい」を、いつもあたらしく。

# 2025年3月期第2四半期（中間期）決算概要 ～ 上期の赤字幅縮小

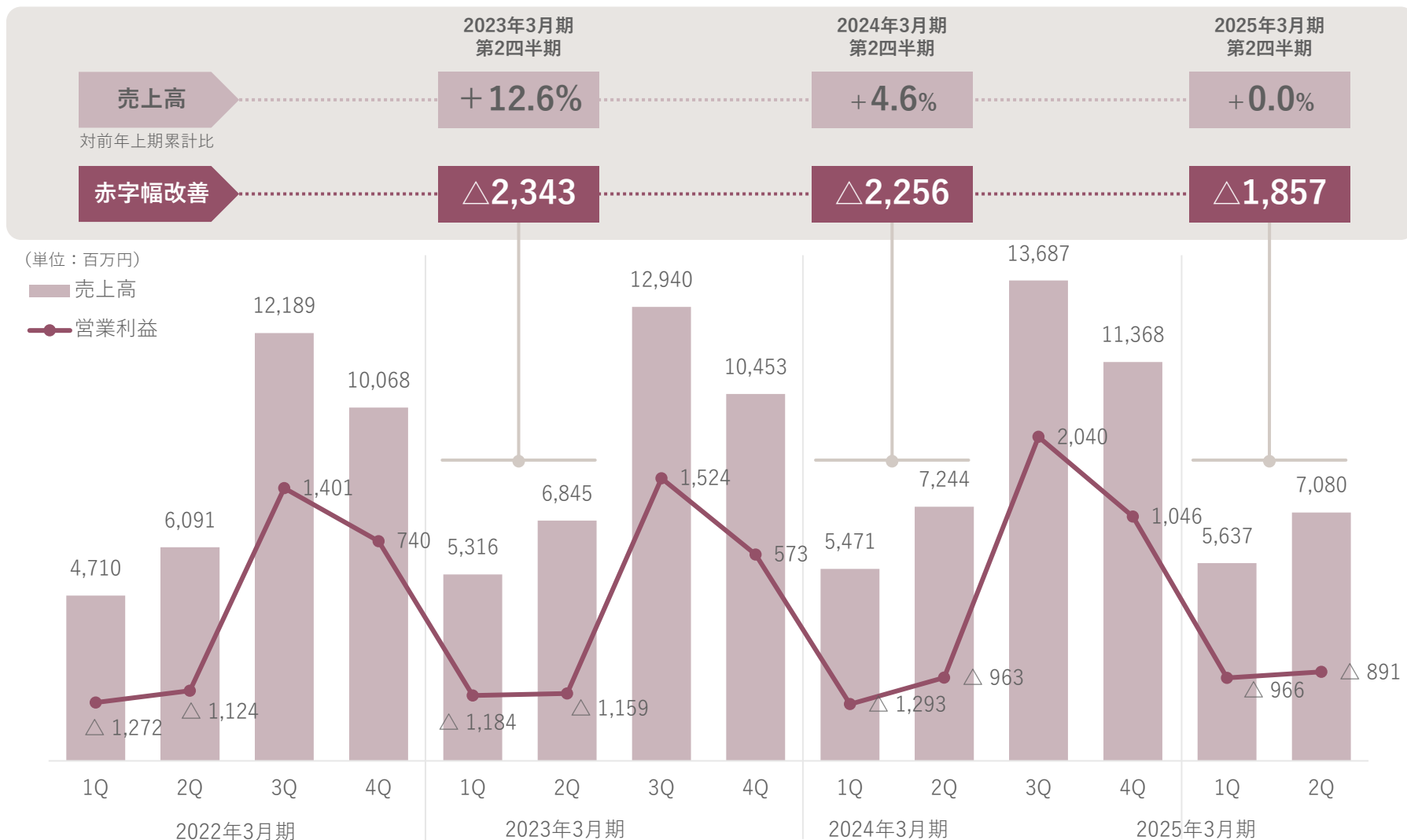
- 売上高は期初計画に対して未達だったものの、食品事業の拡販により前期並みを確保
- 商品の絞り込みや規格の見直しを進める一方で、工場稼働率の平準化やコスト抑制により、期初計画を大幅に上回る赤字幅縮小が進展

(単位：百万円)		2024年3月期 第2四半期	売上高比率 (%)	2025年3月期 第2四半期	売上高比率 (%)	前年同期比 (%)	期初計画 第2四半期 (5月15日公表)
売上高	12,715	100.0	<b>12,717</b>	100.0	+0.0	13,000	
売上総利益	3,304	25.9	<b>3,653</b>	28.7	+2.8	—	
販売費及び一般管理費	5,560	43.7	<b>5,510</b>	43.3	△0.4	—	
営業利益	△2,256	—	<b>△1,857</b>	—	—	△2,100	
経常利益	△2,180	—	<b>△1,772</b>	—	—	△2,000	
中間純利益	△1,584	—	<b>△1,223</b>	—	—	△1,400	

# 四半期決算の推移

中華まんの春夏需要の創出、菓子の自社工場における稼働率の平準化を一段と推進

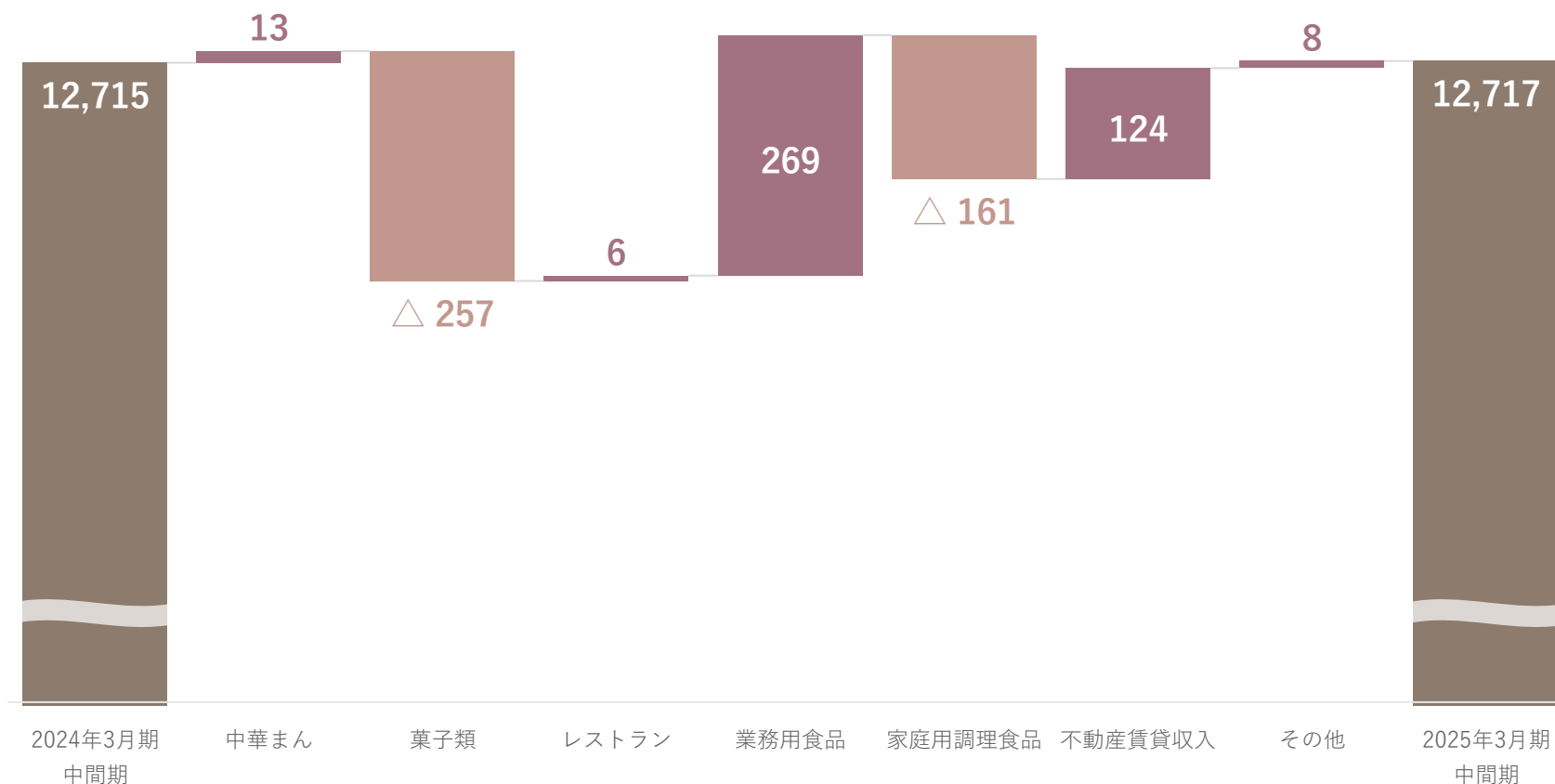
上期の赤字幅の改善が顕在化



# 売上高増減要因分析（前年同期比）

- 商品の絞り込み等により菓子事業はマイナスとなったものの、食品事業は、業務用食品の拡充により増収を確保
- 保有する土地の有効活用により不動産賃貸事業はプラス成長を達成

（単位：百万円）

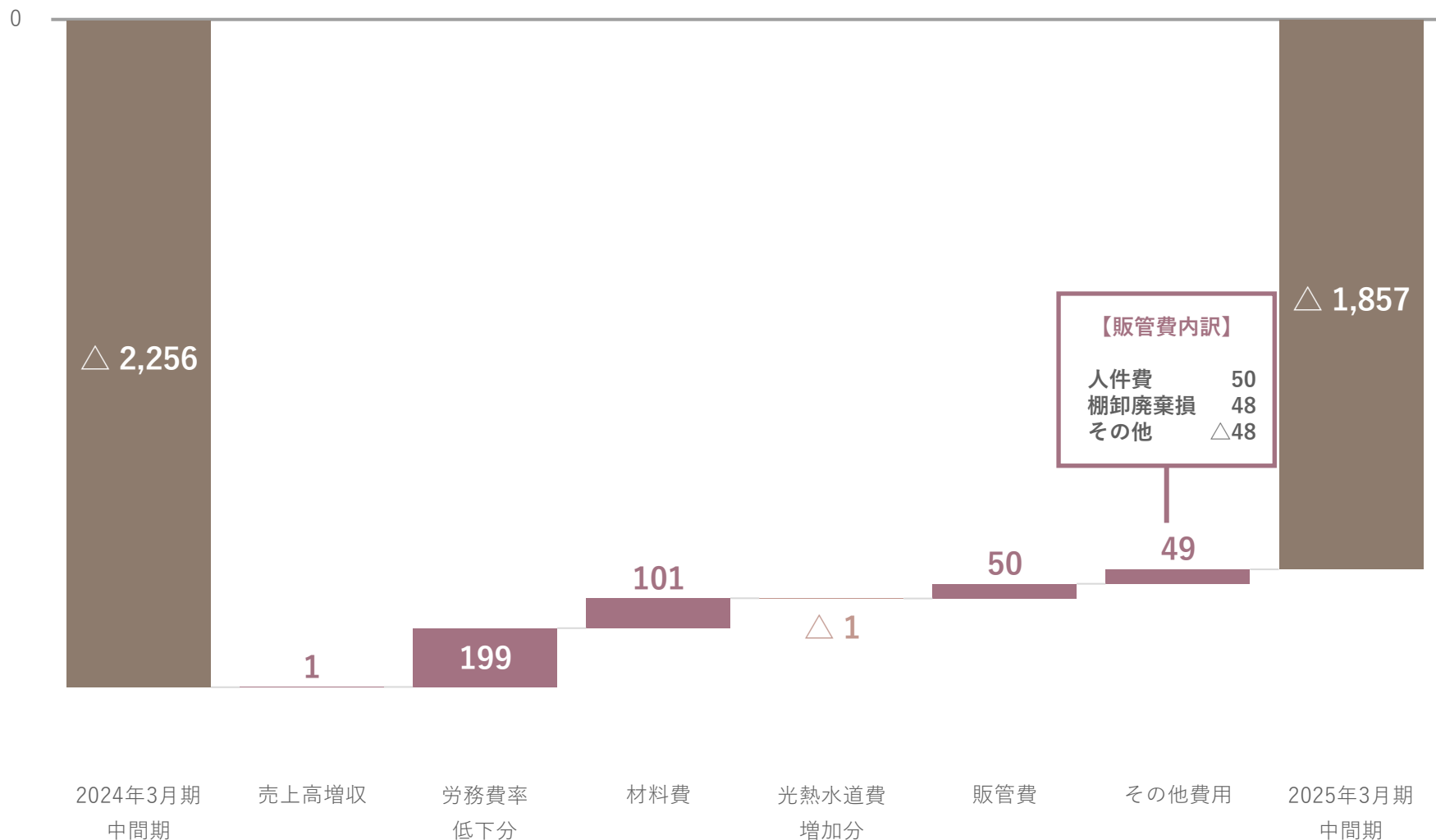




# 営業利益増減要因分析（前年同期比）

- 売上高前年並みも、商品の絞り込み・規格の見直し等による生産の効率化により、売上総利益が二桁増益
- 効率化の推進やコスト削減による販管費及び一般管理費の抑制で、上期の営業赤字を大幅に縮小

（単位：百万円）



# 事業別の売上高・セグメント利益

- ❑ 菓子事業は中華まんの春・夏の需要の喚起、菓子類の商品力強化により赤字幅が縮小
- ❑ 食品事業は主力商品のリニューアル、業務用食品の新販路開拓、レストランも堅調
- ❑ 不動産賃貸事業は遊休地の有効活用により増収増益を達成

(単位：百万円)		2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年同期比	前年同期比伸び率 (%)
菓 子	売上高	7,793	<b>7,546</b>	△247	△3.2
	セグメント利益 (利益率%)	△1,430 (-)	<b>△1,234</b> (-)	+196	-
食 品	売上高	4,578	<b>4,704</b>	+126	+2.8
	セグメント利益 (利益率%)	248 (5.4)	<b>326</b> (6.9)	+78	+31.3
不動産賃貸	売上高	343	<b>467</b>	+124	+36.0
	セグメント利益 (利益率%)	148 (42.8)	<b>243</b> (52.0)	+95	+64.4

■ 新商品の積極的な開発や工場稼働率の平準化により在庫等は増加

■ 長期前受収益の増加により、固定負債は増加傾向にあるものの、自己資本比率は56%を維持

## ■ 資産の部

(単位：百万円)	2025年3月期 第2四半期	2024年 3月期末比増減
流動資産	11,568	+1,033
売掛金	4,176	△819
商品及び製品 仕掛品 原材料及び貯蔵品	5,487	+1,586
その他流動資産	1,905	+265
固定資産	32,559	△424
有形固定資産	24,937	△286
投資その他の資産	7,377	△197
資産合計	44,126	+609

## ■ 負債・純資産の部

(単位：百万円)	2025年3月期 第2四半期	2024年 3月期末比増減
流動負債	7,747	+26
短期借入金	2,900	+400
未払金	1,498	+31
その他流動負債	3,348	△405
固定負債	11,493	+2,303
純資産	24,886	△1,720
株主資本	22,304	△1,573
負債純資産合計	44,126	+609

# キャッシュ・フローの状況

- 営業キャッシュフローは長期前受収益の増加と税引前中間純損失の縮小によりプラス拡大
- フリーキャッシュフローはプラスに転換

(単位：百万円)	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	増減	主な要因
現金及び現金同等物の期首残高	1,218	<b>1,137</b>	△81	
営業活動によるキャッシュフロー	46	<b>587</b>	+541	<ul style="list-style-type: none"><li>・長期前受収益の増加</li><li>・税引前中間純損失の縮小</li></ul>
投資活動によるキャッシュフロー	△407	△ <b>560</b>	△153	
フリーキャッシュフロー	△361	<b>28</b>	+389	
財務活動によるキャッシュフロー	646	<b>8</b>	△638	<ul style="list-style-type: none"><li>・短期借入金減少によるもの</li></ul>
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,503	<b>1,172</b>	△331	

# 2025年3月期通期見通し

新宿 中村屋

変わらない「おいしい」を、いつもあたらしく。

# 2025年3月期 決算見通し～期初見通しを据え置き

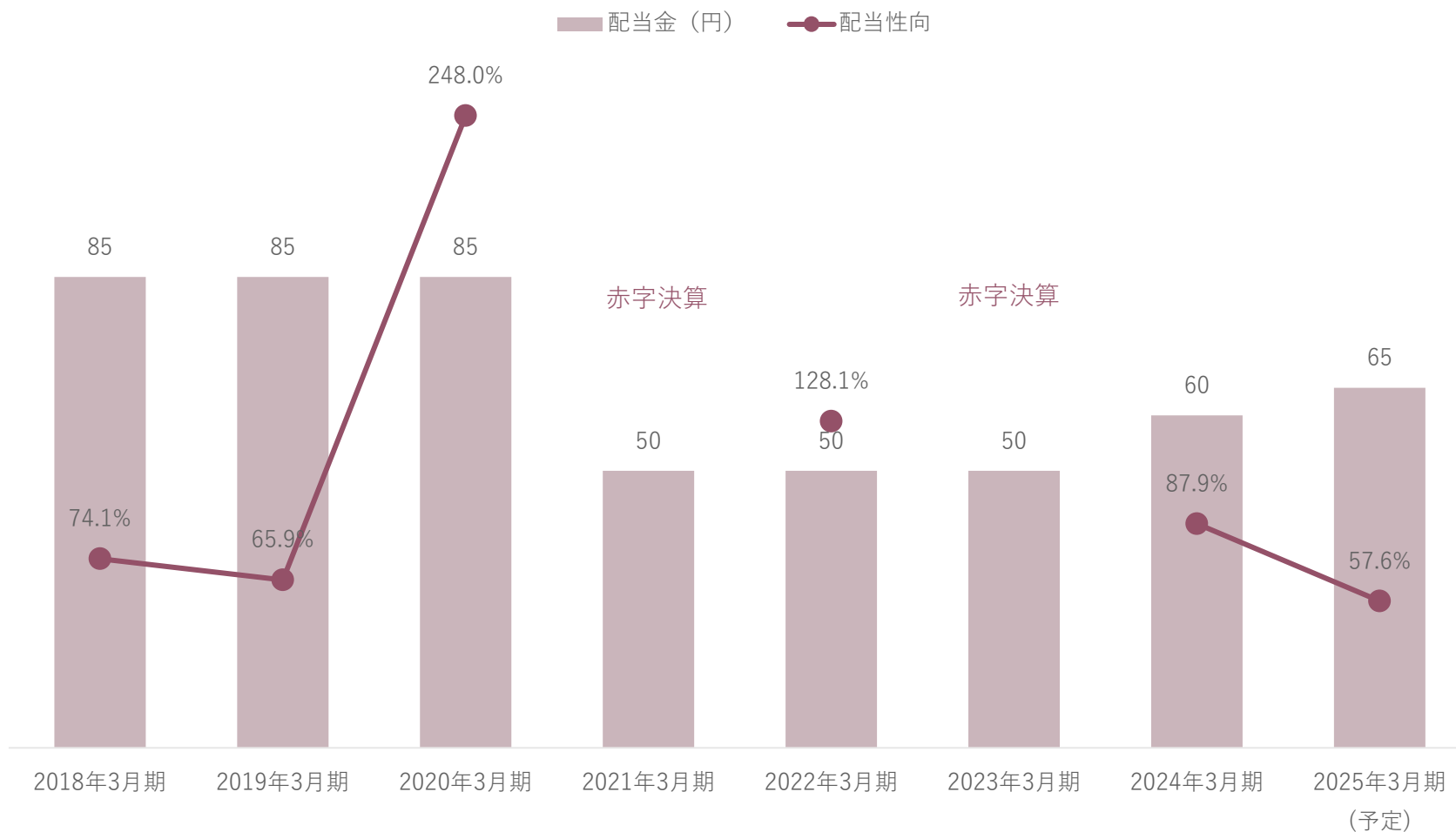
- ⋮ 増収増益を目指す
- ⋮ 中華まんは年間の定番商品として引き続き販路拡大に取り組む
- ⋮ 贈答用菓子のカジュアル化を推進、日常使いのデイリー菓子のブランド認知度を浸透させる
- ⋮ 食品は業務用食品のより一層の収益化をすすめる

(単位：百万円)		2024年3月期	構成比 (%)	2025年3月期	構成比 (%)	前年比 (%)	金額差異
売上高	37,770	100.0	<b>38,000</b>	100.0	+0.6	+230	
営業利益	830	2.2	<b>900</b>	2.4	+8.4	+70	
経常利益	996	2.6	<b>1,060</b>	2.8	+6.5	+64	
当期純利益	405	1.1	<b>670</b>	1.8	+65.4	+265	

# 配当・株主還元策

■ 株主に対して長期にわたり安定的かつ継続的な配当を重視

■ 2024年3月期に続き、2025年3月期は65円と増配を予定



## 企業価値向上に向けた取り組み

新宿 **中村屋**

変わらない「おいしい」を、いつもあたらしく。



- 春夏に季節限定中華まん販売、新商品製造に伴い工場の稼働率はさらに改善
- コスト分散による収益力の強化がすすむ

## 工場稼働率平準化への取り組み

販売店舗（スーパーマーケット）の拡大

中華まん通年販売登録店舗数



2025年3月期中間期時点

まだまだ伸びしろあり

販売登録済であるものの、  
通年販売をしていない店舗数

稼働率



中華まんの製造高

2025年3月期  
中間期

+15.6%

2024年3月期  
中間期

+27.8%

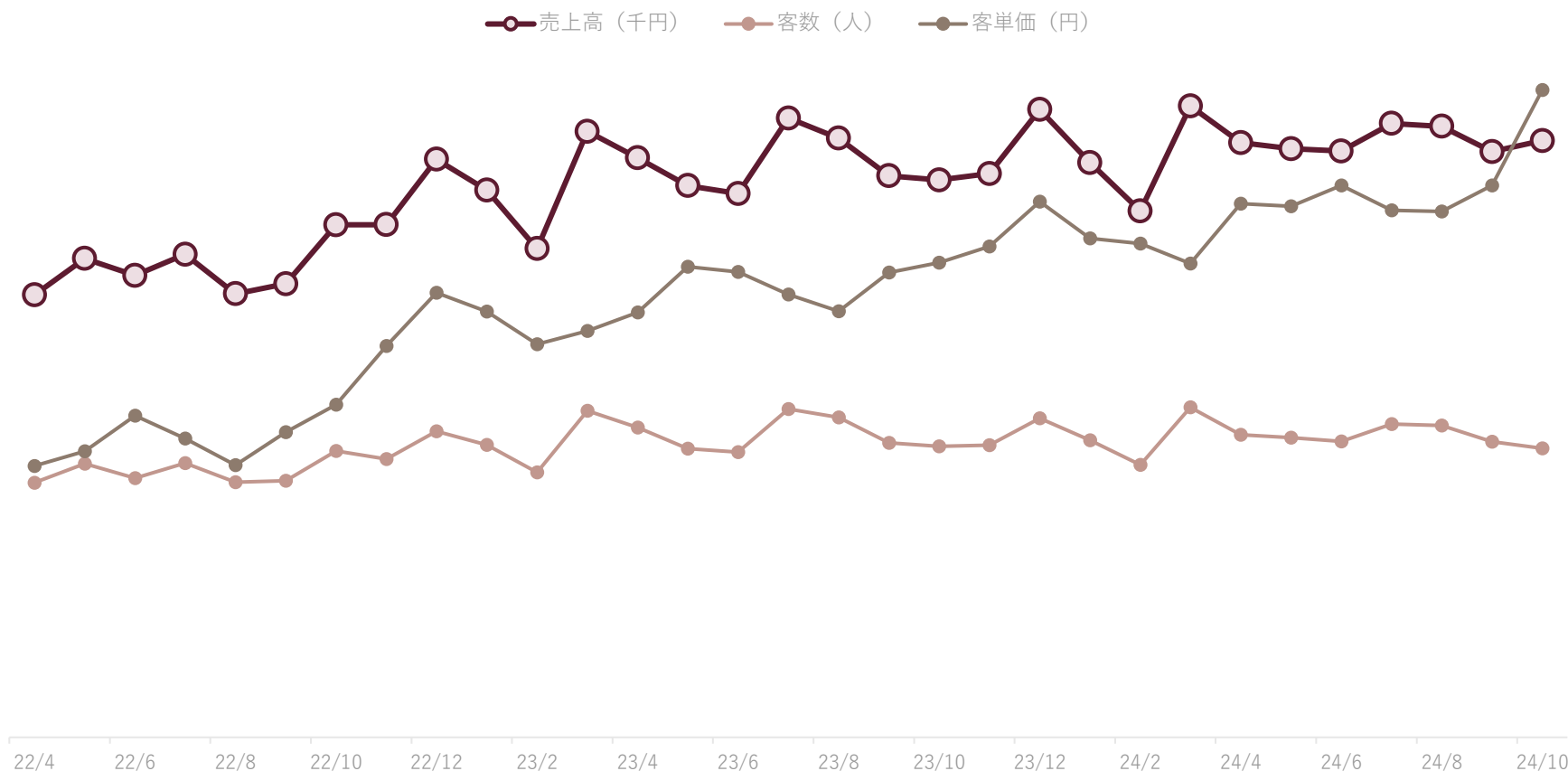
2023年3月期  
中間期

※夏場の中華まんの製造は、埼玉工場のみの数値

収益改善は順調にすすむ

## メニュー改定により客単価は上昇、売上高は堅調に推移

既存店レストラン 売上高・客数・客単価の推移（月次）



- 主力商品を中心に58品目の価格改定を実施
- 今後も市況環境に対応した価格を維持

## 価格改定や規格変更によりコストアップ分をカバー

実施時期	2024年9月	2024年10月
改定率 (想定価格)	+7~23%	
対象商品	<ul style="list-style-type: none"> <li>厚切カステラ類</li> <li>季節限定どら焼類</li> <li>小形羊羹類</li> <li>月の菓</li> <li>なめらかクリームチーズケーキ等の贈答菓子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベイクドショコラトリブランド</li> <li>新宿カリーあられ等</li> </ul>
		

## デイリー菓子の定番化を目指すご褒美喫茶シリーズ

新宿中村屋 × 珈琲所 コメダ珈琲店 あの！人気デザート味わいが焼き菓子に！  
ご褒美喫茶シリーズ「シロノワールパイ」「クロネージュケーキ」

新宿 **中村屋**

ご褒美喫茶

シリーズ

珈琲所  
**コメダ珈琲店**



2024年11月1日（金）発売～2025年2月28日（金）予定

## 中村屋ブランドの磨き上げに取り組む



## 新宿中村屋本店リニューアル10周年 限定商品の発売やイベント・キャンペーンを実施



新たな顧客層を獲得

既存顧客の  
ロイヤルカスタマー化

ストーリーと手作り感の  
訴求によるブランド発信

SNSを活用した  
ファンとの交流

## IRお問い合わせ先

広報・CSR部

TEL

03-5325-2733

E-mail

csr\_ir@nakamura.co.jp

新宿中村屋

変わらない「おいしい」を、いつもあたらしく。

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日、現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な不確定要素により異なる場合がございますことをご了承ください。